

2008 年度

科目名 文化財学研究指導及び演習（文化財構造論）	対象学科・学年 研究科前文1回生 研究科後文1回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 日本仏教史の研究		
授業の概要と目標 日本仏教史の領域において、重要な先学の研究を取り上げて講読し、研究の方法を学びます。講読の目的は、思想史研究の方法習得にあります。あわせて政治や社会の動向、時代の思潮を形成する文化的諸要素等との関連等を視野に入れて、総合的な研究をめざします。今年度は堀一郎『我が国 民間信仰史の研究』（2）宗教史編を講読します。また、各時間の一部を受講生の研究経過報告にあてます。		
評価方法 授業中の発表（50%）・レポート（50%）		
テキスト 各自用意できるように指導します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 聖の発生 3. 聖の性格 4. 聖の分化 5. 山岳仏教の展開 6. 最澄と空海 7. 平安仏教の密教化 8. 験者と聖 9. 御師先達の発生 10. 熊野三山の組織 11. 熊野信仰の伝播 12. 羽黒の霞 13. 伊勢の御師 14. 山と祖霊 15. 山中他界観 16. 山中他界観 17. 浄土教の発達と民間念仏の形態 18. 常行三昧と不断念仏 19. 空也の念仏 20. 源信と『往生要集』 21. 良忍と融通念仏 22. 法然の浄土開宗 23. 親鸞の聖的性格 24. 一遍の念仏勧進 25. 道場の発生 26. 寺院の世俗化 27. 念仏信仰の諸形態 28. 鎮送呪術と民間念仏 29. 追善の念仏 30. 御霊信仰と念仏		